



大東町阿用地区振興協議会の豆まきと餅つき行事（2月3日、阿用神社。関連記事10ページ）

3 contents

2014
No.112

- 2 創業当時の様相を今に遺す 菅谷たたら山内
- 4 雲南ニュース
- 8 ふるさとウォッチング
- 11 第2次雲南市総合計画の策定作業を進めています
- 12 雲南病院だより
- 16 わが家のホープ ほか
- 18 こんにちは保健師です
- 19 こげなことしと一ます研究所うなん ほか
- 21 市役所からのお知らせ ほか
- 28 3月イベント情報

市 Public Relations

報

うなん

「平和を」の都市宣言のまち 雲南市

操業当時の様相を今に遺す

菅谷たたら山内

たたら製鉄の歴史を物語る文化遺産「菅谷たたら山内」その佇まいは、製鉄の歴史、文化、技術、技術を今に伝え、鉄師の息づかいまで伝わってくるような、そんな魅力ある山内を紹介しします。

日本の製鉄文化の基底には、自然の中で培われた長い製鉄技術の歴史と伝統がある。製鉄の技術史を学ぼうとすれば、どうしてもその技術があった場所に立ち、その技術の実体を五感で感じることが必要になる。

たたら製鉄は、山間のごく限られた一体で営まれ、その製造現場と生活地区を総称して山内と呼ぶ。菅谷たたら山内の中心には、たたら炉を有する高殿があり、事務所や出荷場所としての元小屋、そして米倉などの関連施設がある。これらの生産施設の周辺には、長屋（村下屋敷・三番屋敷）をはじめとした、たたら製鉄に従事した労働者の住居が今に残る。

保存修理工事

菅谷たたら山内では、平成二十四年度から保存修理工事を進めている。修理前、集落内の建物は、経年劣化や積雪等の影響で破損や雨漏り等が進行している状況であった。そのため、主要な建物である高殿、元小屋から順に構造部の補強を含めた

保存修理工事を進めており、平成二十八年度まで継続して行う予定である。なお、高殿は今年の秋に竣工予定である。

解き、繕い、結び直す

山内の中心施設である高殿は、昨年度より「解体修理」を行っている。ここで言う解体修理は、一般的な解体工事とは異なる。伝統工法を熟知した大工により、建物の部材は一本一本丁寧に解体され、腐朽部分のみ修繕し、再度組み上げられる。解体ではなく、「建物を解き、再度結び直す」という表現が適切だ。繕い材は、伝統的継手で古材と継がれ、古材の仕上げを踏襲し「手斧」で仕上げられる。補足された新材には、修理した年が焼印で記される。屋根は元々栗のこけら板で葺く全国的にも珍しい仕様であった。今回の修理でも、中国山地で採れた栗材を加工し、葺材に使用する。



■大工による部材の繕い



■解体中の高殿

復元する

高殿には操業当時、「火打内」と呼ばれる屋根頂部の開口部が存在した。火打内は、操業時に、屋外の冷たい風を建物内部に取り込むための重要な機能を果たしており、鉄の品質を左右する重要な役割を担っていた。操業停止後、不要となり撤去されていた火打内を古写真や類例調査、古老への聞き取り等を行い、今回、復元する。

また、高殿の壁の一部には粗朶（雑木）による小舞が残されていた。主に竹が入手しにくい東北など寒冷地等にみられる仕様である。つまり、菅谷周辺も、創建当時は竹が身近に存在しなかったことを物語る。



■高殿 火打内の復元（イメージ図）

鉄の「風土」

フィールドミュージアムへ

菅谷たたら山内を中心とした周辺地域は、かつて、自然と生産が調和した特有の鉄の「風土」があった。鉄の風土を築き上げたたたら師たちが、生業としての鉄づくりの技術を中心として、彼らの持っていた「感覚的な自然感」をどのように知り、後世へ伝えることが出来るのか。菅谷たたらフィールドミュージアムの意義はそこにある。菅谷たたら山内には、高殿や元小屋をはじめ、たたら製鉄生産に関わる施設や操業当時の人々の住居は辛うじて残されるものの、周辺の自然環境は崩れ、人の手の及ばない自然の力が、かつて山と共に生きてきた山内の姿をかき消しつつある。



■菅谷たたら山内の様子（昭和初期）



■鉄穴流しの作業風景

菅谷たたら山内周辺の山々では、操業当時いたるところで砂鉄を採取するための「鉄穴流し」が行われていた。それは、自然の地形や植生、水利を巧みに利用し、最終的には鉄という産業製品を生み出す、いわば「前近代的な産業遺産」とも言うことができる。

西欧にはないある種独特な景観をもつ菅谷たたら山内と里山や溪流、鉄穴流し跡、集落の家並みなど周辺の自然環境や景観との一体感を如何に保存継承していくかが今後の課題である。

1 賑やかに島根ふるさとフェアが開催されました

1月18日、19日に、広島市の広島県立総合体育館周辺で「島根ふるさとフェア2014」が開催されました。今回で17回目となるこのフェアは、島根県各地域の魅力や観光資源などを紹介し、島根県と広島県の交流がより一層促進されることを目的としたものです。今年の来場者数は、天候にも恵まれ18万2千5百人と昨年よりも約2万人多く、過去2番目に多い人数がありました。



多くの来場者で賑わいました



槻屋神楽保持者会の舞

雲南市からは屋内の「島根まるごと特産市」へ7業者、屋外の「しまねあつあつ屋台村」へ3業者が出展し、多くの来場者が雲南市の特産品を買い求めていました。しまねふるさとステージでは、雲南地域から「槻屋神楽保持者会」と「仁多乃炎太鼓」が出演し、ヤマタノオロチの登場する神話に彩られた荘厳な舞や、豪快な振付による一糸乱れぬ力強い太鼓の音に多くの人が魅了されていました。

このフェアを通じて、雲南地域の魅力や良さを、改めて広島の方に伝えることができました。これからの観光シ

ーズンには多くの方に、雲南地域へ足を運んでいただけたらと思います。

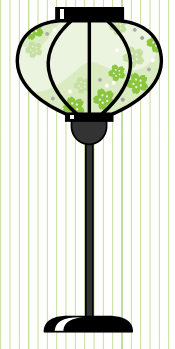
2 吉田町民谷地区で新たな地域自主組織が誕生

1月21日、旧民谷分校にて、吉田町民谷地区の皆さんで構成される「民谷地区地域自主組織設立準備委員会（委員長：岩田隆福さん、会員180人）」の第2回評議員会が開催され、地域自主組織「民谷地区振興協議会」の設立について、満場一致で可決されました。これにより、



民谷地区地域自主組織設立準備委員会の第2回評議員会の様子

市内で43カ所目となる地域自主組織が新たに誕生しました。民谷地区では、平成23年度末の民谷分校閉校後、民谷地区のあり方や分校施設の活用方法について検討を重ねてこられました。民谷地区振興協議会は、市内で2番目に人口の少ない地域自主組織となりますが、出席者からは「これからが大切。小規模の地域自主組織として課題も多いたが、みんなの顔が見える、笑顔の絶えない地域となるよう、みんなで振興協議会の活動を盛り上げていこう」との決意表明がありました。会長には岩田隆福さんが就任され、4月から旧民谷分校を民谷交流センターとして活用する予定です。



5 「雲南市の歌」歌詞決定!

雲南市では、市制施行10周年を記念し、市民の一体感と郷土に対する愛情を育み、誰からも親しまれ、永く歌い継がれる「雲南市の歌」を作成することとし、昨年10月から歌詞の募集を行ってきました。

歌詞の募集には、市内外から43点の作品の応募をいただき、1月25日、雲南市の歌選定委員会で選定をいただき、次の方の作品を、最優秀賞（1作品）、優秀賞（2作品）に決定しました。

- 【最優秀賞】※採用作品
石井 昭良さん（愛知県岡崎市）
- 【優秀賞】
工藤 和久さん（青森県弘前市）
佐藤 文子さん（雲南市木次町）

今後、最優秀賞の歌詞を基に曲の作品を応募いただき、選定を行います。完成した「雲南市の歌」は、雲南市市制施行10周年記念式典での披露を予定しています。

3 県道玉湯吾妻山線下遠所工区が開通

島根県が平成23年度から事業を進めてきた、主要地方道玉湯吾妻山線下遠所工区改良工事（延長610m）がこのたび完成し、1月30日、幡屋交流センターで、交通安全祈願祭と竣工式が行われました。



開通した県道玉湯吾妻山線下遠所工区

主要地方道玉湯吾妻山線は、松江市玉湯町の国道9号を起点とし、雲南市大東町を経由して、仁多郡奥出雲町の吾妻山公園までのおよそ56・2kmの幹線道路ですが、大東町の下遠所地区はカーブが連続する狭い道路で車の離合も困難な状況のため、早急な整備が強く

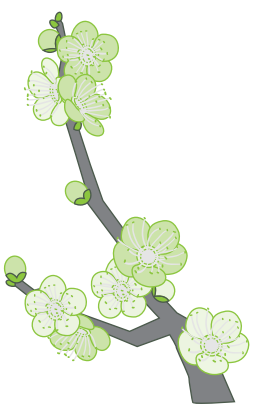
4 特設公衆電話の設置等に関する協定締結

2月6日、市役所において西日本電信電話株式会社と雲南市が「特設公衆電話の設置・利用に関する協定書」の締結調印式を行い、西日本電信電話株式会社島根支店長の杉島辰海さんと速水市長が協定書に署名調印しました。

この協定は、強度の地震等の発生により災害救助法を適用する地域で、広域停電の発生、また社会の混乱が発生した際に、特設公衆電話（非常用電話）を接続することで被災者や帰宅困難者等へ通信の提供を可能にするものです。協定に基づいて市では、災害発生時に即座に利用するため、地域の防災活動の拠点となる各交流センター30カ所へそれぞれ1回線配置する予定です。



協定締結後、協定書を交わす速水市長と杉島支店長



安心・安全なまちづくりは、最大の行政課題

市民の皆様が安心・安全な毎日を過ごされることこそ雲南市の最大の行政課題です。

原子力発電は国のエネルギー政策によるものですが、原発問題は、その安心・安全な生活に係わる大きな存在です。それだけに、国は原発が立地している周辺の声に十分に耳を傾けてもらわねばなりません。そのための対策として、雲南市も早急に「(仮称)雲南市原子力発電所環境安全対策協議会」を発足させる予定です。

一方、毎日の安心・安全な消費生活にかかわる雲南市消費生活センターへの相談件数が、昨年度と比較して約2倍となっています。送りつけ商法や投資詐欺など巧妙な手口による被害や冷凍食品への農薬混入事件などによる相談もあっています。

消費者行政については、これまで消費生活センターに消費生活相談員を配置し、市民の皆様からの相談に応じています。安心・安全なまちづくりの一環として、今後もこの体制を維持し、相談業務・被害防止及び消費者教育の推進を図りますので、消費生活センターをご利用ください。



2013 B & G 広報大賞を受賞しあいさつする速水市長 (1月30日、笹川記念会館)

8 広島雲南市ふるさと会総会及び集いの会が開催されました

今年で8回目を数える広島雲南市ふるさと会総会と集いの会が1月18日にメルパルク広島で開催されました。当日は、92人の出席があり、総会では、今年の4月にさくら祭りへの里帰りツアーなどの事業提案がされ、了承されました。集いの会では、速水市長のあいさつのほか、昨年の雲南市の十大ニュースを報告しました。また、会場では10人の方にふるさと納税をしていただいたほか、「赤い



集いの会であいさつする速水市長

羽根共同募金 うんなん手のひら募金」の活動団体である「コープおたがいさま雲南」への募金もいただきました。

たくさんありますが、一番の宝は、この雲南で育った「子どもたち」です。子どもたちが雲南市を誇りに思い、自分らしくいきいきとたくましく生きていてほしいと願っています。



うんなん若者会議に参加した生徒たち



三刀屋高校演劇部の「椰子の実とオニヤンマ」

6 市内の高校生が地域の宝について考えました

2月9日、三刀屋文化体育館アスパルにおいて地域でつなぐキャリア教育モデル事業 雲南地区宝発見シンポジウムが開催され、大東高校、三刀屋高校、三刀屋高校掛合分校の生徒や教職員など800人が参加しました。このシンポジウムは、3校の高校生が、これまで学習してきた「地域の宝」について5組が発表し、ふるさと雲南の魅力と、これから「めざす宝」について考えるキャリア教育の一環として開催されました。



大東高校の発表



三刀屋高校掛合分校の発表

三刀屋高校掛合分校の1・2年生は、「地域連携の取り組み」と題して、掛合小学校と連携し、絵本の読み語りボランティアの取り組みを紹介。わくわくお話し隊から「本の選び方」、「読み語りのポイント」などを教わった後、小学校で読み語りをを行い、「小学生と交流ができ、楽しんでもらえた」、「本からのメッセージと一緒に味わうことができた」などと感想を語っていました。このほか、昨年11月に開催されたうんなん若者会議の報告や、三刀屋高校演劇部が地域の宝をテーマにした「椰子の実とオニヤンマ」の公演も行われました。

参加した生徒は、「市内の高校生が一緒に地域の宝について考えることができ良かった」など感想を語っていました。今回のシンポジウムで、雲南市の宝を改めて実感することができました。雲南市の宝は

7 今年も来ました早稲田大学留学生

大東国際文化交流協会の主催による早稲田大学留学生のホームステイ事業が2月9日から1カ月間行われています。

2月9日の歓迎会では、留学生の代表としてヴァギーシャ・リヤナさんが「現代の世界に重要なのは、経済発展や政權ではなく、国際平和や国際協力だと思います。ノーベル平和賞受賞者レスター・ピアソンの言葉『平和の先、国々の人の協力が必要。協力の先、人々の出会いが必要』、つまり、国々の文化や民族のことを学び、人々の交流をもとに世界平和が実現するものと思います。このような交流は、この島根・雲南市プログラムの



ホストファミリーと対面する留学生

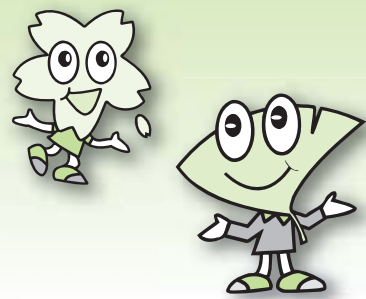
をしながら、雲南市での暮らしや文化を楽しんでいます。主に小・中学校や幼稚園を訪問し、子どもたちと交流をしたり、雲南市内で調理実習や文化体験などを通じて、地域の方とも交流を深めたりしています。



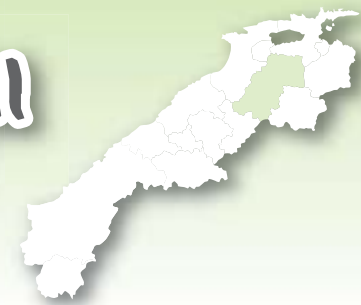
あいさつするヴァギーシャさん

今年5人の留学生が大東町と加茂町に1カ月間ホームステイ

早稲田大学留学生		ホストファミリー	
氏名	性別	地区	氏名
ローレン ドリュウ Lauren Drewさん	女	大東町佐世	かとう しんや 加藤 信也さん宅
ジャクリン ソルカインド Jacquelyn Salkindさん	女	大東町久野	いしはら ひろゆき 石原 博行さん宅
ジョン カレー Jonathan Curryさん	男	大東町海潮	たなべ しゅうじ 田部 修二さん宅
アンナ レイ Anna Layさん	女	加茂町東谷	たかき ひろあき 高木 広明さん宅
ヴァギーシャ リヤナ グナワルダナ Vageesha Liyana Gunawardanaさん	男	大東町大東	こやま しげき 小山 繁樹さん宅



ふるさとオウオウツチン



1/18

賑やかにスポーツフェスティバルが開催されました

三刀屋文化体育館アスパルで、第25回島根県スポーツレクリエーション祭「スポレク広場」を兼ねたみやまスポーツクラブ「スポーツフェスティバル」があり、市内の幼児から高齢者、スポーツ少年団員ら約200人が参加し様々なスポーツを楽しみました。スポーツ体験コーナーでは、参加者がバスケット、卓球、サッカー、輪投げ、スカットボール、ドッジビーの6種目に挑戦し、全ての種目をクリアした方には、みやまスポーツクラブ特製バッチが配られました。参加者は、市スポーツ推進委員協議会や体育協会、スポーツ少年団の指導員からスポーツのルールを教わりながら交流を深めていました。スポーツの後は、スポーツクラブボランティアが作った豚汁がふるまわれ賑やかなフェスティバルとなりました。



輪投げに挑戦する参加者

1/26

今年も海と山の交流が行われました

今年で27回目を迎える海と山の交流「カキまつり」が、掛合町道の駅「掛合の里」駐車場で開催されました。雨模様の中でしたが、たくさんの方が列を作り、広島県呉市音戸町産のカキを求めていました。カキの他にも音戸町産の新鮮な海産物や掛合町内の特産品販売や手打ちそば、餅つき実演販売なども行われ賑わっていました。

また、雲南広域連合主催による尾道松江線開通に伴う広島四国との交流事業として、地域づくり研修会「女性パワー」で地域を元気に」と題した愛媛県宇和島市の遊子漁協女性部長の山内満子さんの講演や遊子漁協女性部のみなさんがキッチンカー移動販売PR交流も行われました。



カキを求める来場者のみなさん



▲キッチンカーにも多くの方が列を作っていました

1/25~26

全国木工チャレンジコンテストで全国中学校産業教育教材振興協会長賞を受賞

大東中学校3年生の福井健吾さんは、昨年11月の中国・四国ブロック審査で全国大会出場権を獲得し、東京都新木場タワーで行われた第14回全国中学生創造ものづくり教育フェア 木工チャレンジコンテスト製作部門に出場し、見事に全国中学校産業教育教材振興協会長賞を受賞しました。

想いなどをアピールします。福井さんの作品は、「パソコン収納本立て」。本立ての下にノートパソコンが収納でき、その上には、鉛筆などを収納するスペースや本立て横にスライド式の本立てができる作品です。受賞おめでとうございます。



全国中学校産業教育教材振興協会長賞を受賞した福井健吾さん

1/28

市内地域自主組織で民間事業者と初の高齢者見守り協定締結

地域自主組織の吉田地区振興協議会は、日本郵便株式会社吉田郵便局、雲南農業協同組合吉田支店、水道検針をしている株式会社吉田心るさと村及び新聞配達やガス検針をしている藤原商店と吉田地区高齢者等の見守りに関する協定事業の協定書を吉田交流センターで締結しました。市内の地域自主組織が民間事業者とこの協定を締結するのは初めての事です。これまでも同協議会では地域福祉部を中心に高齢者の見守り活動に取り組んでいますが、今回の協定締結により、高齢者等を見守るための、より多くの場をさしにより、万が一、異常が発生した場合にできるだけ早期に見守ることができると見守り支援体制の環境が整えられました。

1/30

加茂B&G海洋センター B&G広報大賞受賞！

海洋センター等の活動を広く周知するため、積極的な広報活動を通じて、B&Gブランドの普及に努めた海洋センター等を表彰するB&G広報大賞を、加茂B&G海洋センターが見事に受賞しました。

応募総数2,140件の中から、2段階の内部審査を受け、テレビの部、新聞の部、地域広報の部、ホームページの部の4部門で優秀賞33件が選ばれ、同海洋センターは、すべての部門で入賞の快挙も達成しました。大賞を受賞したのは、テレビの部。内容は、「B



広報大賞を受賞し、審査委員長の岸ユキさんと記念撮影する速水市長

2/2

伝統文化 掛合トランプワールドカップ開催

第42回掛合トランプワールドカップが掛合町のまめなカセンターで開催されました。毎年恒例の本大会ですが、今年は、若手からベテランまで36人の愛好家が集まり、朝から夕方までの長時間の経つのを忘れず一心不乱にトランプ

を楽しみました。誰もが一度は手にしたい優勝の座には、掛合地区の荒木敏和さんがその榮譽に輝かれました。このトランプは、ルール自体は明快ですが、相手のカードの読み合いや駆け引きなど非常に奥が深いものです。最近では、学校や各自治会、交流センター単位などで、この伝統あるトランプの保存継承、世代間交流を目的として子ども達と一緒に楽しむ機会も多いようです。

この大会も若い世代の参加者を増やしながら、伝統文化を継承してほしいものです。



協定書締結後、握手をする吉田地区振興協議会の錦織会長と事業者のみなさん



トランプを通して参加者の親睦、世代間交流を深めていました

2/2

味噌づくりで食の伝承

小河内自治会（大東町）のなぎ集落（中山間地域等直接支払制度の協定農家23戸）では、集落の協定農地で大豆を栽培し、収穫した大豆で味噌づくりに子どもから大人まで36人が挑戦しました。味噌加工は、経験のないお母さんも参加し、経験豊かなお母さん達からいろいろ教わりながら和気あいあいの中、塩分控えめで無添加の味噌を仕込みました。味噌は、「なぎの味噌」と命名し、参加者は、半年後の完成を楽しみにしていました。また、味噌仕込みの間には、子どもも手伝ってそば打ちも行い、おいしい出来立てのそばを食し、味噌づくりに打ちを終えました。



教わりながら味噌づくりをしました



▲お父さんとそば打ちを手伝いました

2/4

税金の大切さを学びました

毎年、雲南地区租税教育推進協議会の主催により、行政のほか青色申告会や法人会などが講師として、市内の小中学校及び高等学校で税金の意義や役割、税金の必要性を考えるきっかけとなるよう租税教室が開催されています。

2月4日は、大東町青色申告会の担当者が大東小学校の6年生37人を対象に租税教室を開催し、税金の仕組みや税金で作られた大東町内の施設を紹介したり、1億円のレプリカを直接触ってみたりして、税金の大切さを学びました。子どもたちは、「税金を大切にしようと思った」、「税金がいろいろなものに使われていることが分かった」などと感想を語っていました。



1億円のレプリカと記念撮影しました

2/3

鬼はくそと！福はくうち！

阿用地区振興協議会主催で豆まきと餅つき行事が行われました。これは、同振興協議会の生涯学習部が、節分に合わせ、豆まきと餅つきを行おうと今年度初めて企画されたものです。

始めに阿用神社で宮司さんの合図で、集まった阿用小学校児童約30人が、赤鬼、青鬼を目標に、一斉に豆をまきました。豆まきが終わると、全員が阿用交流センターに移動し、餅つきを行いました。ついた餅は、きな粉餅にして、みんなでおいしくいただきました。（表紙に写真掲載）



豆まきの後、みんなで餅つきをしました

第2次雲南市総合計画の策定作業を進めています

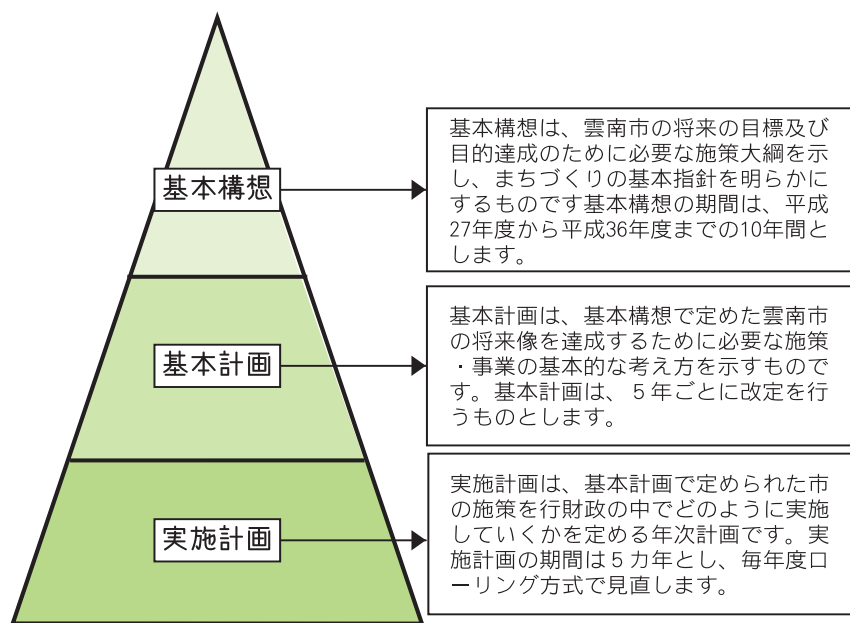
政策推進課 ☎0854-40-1011

雲南市では、市政運営の最も基本となる「総合計画」の策定作業を進めています。今回は、総合計画の役割や構成などを紹介します。

なぜ新しい計画が必要？

雲南市では、平成18年12月に策定した雲南市総合計画

（計画期間：平成19年度～平成26年度）に基づき、基本理念に掲げた『生命（いのち）と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり』の実現に向



基本構想は、雲南市の将来の目標及び目的達成のために必要な施策大綱を示し、まちづくりの基本指針を明らかにするものです。基本構想の期間は、平成27年度から平成36年度までの10年間とします。

基本計画は、基本構想で定めた雲南市の将来像を達成するために必要な施策・事業の基本的な考え方を示すものです。基本計画は、5年ごとに改定を行うものとします。

実施計画は、基本計画で定められた市の施策を行財政の中でどのように実施していくかを定める年次計画です。実施計画の期間は5カ年とし、毎年度ローリング方式で見直します。

け、総合的かつ計画的なまちづくりを進め、この間、地域自主組織の活動や学校教育における地域資源を活かした取り組みなど各種施策に取り組みを進めました。この間、世界的な経済、金融危機の頻発は、私たちの地域にも大きな影響を与えたほか、東日本大震災をはじめとした頻発する大規模な自然災害など、少子高齢化の進行する中においてまちづくりを左右する新たな課題も生まれています。本市では、これらの変化を的確に受け止め、

第2次雲南市総合計画策定委員会通信

雲南市では、市政運営の最も基本となる「総合計画」を、雲南市総合計画策定委員会（委員長：加藤一郎さん、委員20人）の皆様と策定作業を進めています。

これまでの8回に及ぶ議論の中で、今後のまちづくりにおいては、「資源を活かす」「助け合う」「情報を共有する」「互いに学び合う」「外に伝え、外とつながる」といった5つのキーワードが、課題解決にむけて重要な視点であるとしてまとめられました。また、まちづくりを進めていく上で『私たちは、「人と自然と歴史と食の幸」を大切にします。』『私たちは、その幸を活かし、市民力を結集して課題に立ち向かいます。』『私たちは、挑戦を通じ交流を生み出し、世界につながります。』という姿勢をもとと話しあわれています。

さらに、雲南市の持続可能な地域づくりのために、地域自主組織の活動に対して一層の支援が必要であること、人口の減少からの転換のための取り組みの強化が必要などの意見が出されています。

現在、基本構想で定める雲南市のめざす姿や取り組み目標、まためざす姿を達成するために必要な施策について、各施策の主管課長から説明を受け、熱心な議論を重ねています。



総合計画策定委員会の様子

を示すものとなります。

総合計画の構成と目標年度は？

私たちが合併以来取り組んできたまちづくりを振り返り、市民と行政が新しい時代に向けた目標を共有し、踏み出していくための指針として第2次雲南市総合計画の策定を進めています。

総合計画の役割は？

総合計画は、雲南市の全ての分野における行政運営の基本となる最上位計画で、計画的な行政運営を進めるための指針、まちづくりの方向性

総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画の3部で構成し、計画期間は、平成27年度を初年度に、平成36年度を目標年度としています。また、基本計画には施策毎に成果指標を定めています。その成果指標の値を定期的に点検し、計画の達成度を確認できる仕組みを導入します。

雲南病院だより

緩和ケアチームの紹介

当院に緩和ケアチームができてちょうど2年が経過しようとしています。その間、多職種（医師、看護師、薬剤師、管理栄養士など病院に勤務するあらゆる職種の者をさします）で事例検討を重ね、緩和ケアを希望された患者さま家族さまをサポートしてきました。

緩和ケア（最近よく耳にするようになりまし）とは何でしょうか？少し前までは、がんの終末期に対する治療のことをさしていましたが、現在では、「生命を脅かす病気に罹っている患者さま家族さまに対して、病気の早期から、『身体的苦痛』『精神的苦痛』『社会的苦痛』『魂的苦痛』を克服できるよう支援し、生活の質（QOL）を改善していく」治療のことをさします。

みに直面します。それは、痛みや抗がん剤治療の苦痛、いろいろな感や将来の心配、仕事や治療費の問題、あるいは、死の恐怖や人生の価値観など様々です。緩和ケアチームはこれらの問題に対して、各々の職種の専門性を活かし、より良い対処方法を提案させていただきます。

また先ごろ、島根大学医学部附属病院 緩和ケア認定看護師今岡恵美さんに講演いただきました。その中で、患者さまの希望を聞き、支えてあげることの重要性をお話されました。『小さな希望から大きな希望まで優先順位をつけ、患者さまの具体的な行動を支援していく』ことは非常に有効であり、早速実践していきたいと決意いたしました。



▲今岡さん（前列中央）と緩和ケアチームの集合写真



▲今岡恵美さんによる講演

音楽療法士さんが来てくれました！

1月29日に、ふれあい病棟（介護療養型医療施設）に音楽療法士の金築朋子さんが来てくださいました。心に響く歌と演奏、病棟の皆さんと一緒に歌ったり、鳴子を鳴らしたり、とても楽しいひと時でした。患者さまの笑顔がとても輝いていて、音楽療法の素晴らしさを感じる良い機会となりました。この日は病棟のお誕生会も開催。誕生月の患者さんには心温まる良いプレゼントとなったことでしょう。



▲金築さんによる音楽療法

阿用小学校 地域医療学習発表会

2月5日に雲南市立阿用小学校の地域医療学習発表会へ出掛けました。昨年地域医療学習の授業を行った5人の講師（大谷院長、梶谷看護師、勝部地域医療支援コーディネーター、ボランティアの会の矢壁事務局長、雲南市の徳島保健師）が、6年生14人の発表を聞かせてもらいました。子どもたちは2人1組になり、それぞれのテーマを決めて授業で学んだことをポスターにまとめ、発表してくれました。医療の歴史や現状、医療従事者（医師・看護師・保健師）や病院ボランティアについて学習したことを、緊張しながらもしっかりと話す姿はとても頼もしく感じました。

発表が終わると、講師5人と視察に訪れていたしまね地域医療支援センターの岸主任が感想を述べ、最後に記念撮影をしました。

この地域医療学習は、子どもたちがその地域の医療について学ぶ素晴らしい機会であり、今後の雲南地域の医療を守るうえで、ぜひ継続していただきたい授業です。6年生が作ってくれた地域医療学習のポスターは今後雲南市立病院に展示する予定です。



▲発表会終了後の記念写真



▲発表する子どもたち

雲南市立病院 奨学生募集について

- ◆ **奨学金制度の目的は**
看護師及び助産師を志す人に奨学資金を貸与し、修学を容易にすることにより、安定的な看護職の養成を図ることを目的としています。
- ◆ **貸与することができる人は**
高等学校を卒業し看護大学、助産師学校、看護短期大学、看護学院（以下「看護学校」という。）に入学が決定した人及び、看護学校に在学中の人。
- ◆ **奨学資金の額は**
奨学資金の額は、月額5万円とします。
- ◆ **貸与期間は**
奨学資金の貸与期間は、看護学校に在学する期間とします。
- ◆ **貸与人数は**
貸与人数は、各学年3人までとします。
- ◆ **奨学資金の申請は**
奨学資金の貸与を希望する方は、雲南市立病院看護師等奨学資金貸与申請書を、3月14日（金）までに総務課へ提出してください。（ホームページにも掲載しています。）
- ◆ **貸与の決定は**
貸与については、申請者の審査及び面接を行った上で決定します。
- ◆ **返還の免除は**
看護学校を卒業後、看護師及び助産師として、雲南市立病院に継続して6年間勤務した人。

奨学金制度についての詳しい内容は下記まで問い合わせください。
雲南市立病院 総務課 ☎0854-43-2441

医療出前講座 開催報告

1/19/20 保健師

1月19日と20日の2日間、大東町内2カ所に保健師が出かけ、健康に関する出前講座を行いました。

19日の飯田地区（柿坂自治会）では、約40人の女性を対象に、渡部保健師が、「肥満と生活習慣病の関係について」「肥満予防・改善について」、当院の健診結果状況を交えたり、実際に自分のBMI（体格指数）や1日必要摂取エネルギー量を計算したり、またクイズゲームを取り入れながら話をしました。多くの方が健康に関心を持ち、日頃から気を付けている様子でした。

新年に改めて、「今年は健康のために何をするのか」を考えていただく機会となれば幸いです。最後にがん検診の重要性についても触れ、がん検診の予約も受け付けました。



のかについて、資料に沿って話しました。36人が参加されて熱心に聞かれ、いろいろな質問が飛びだしました。中には自主的に健康に関する情報を勉強され実践されている方がおられ、健診の血圧の判定について、運動の効果や方法について等、話題が広がりました。出席された方々が、どんなことに関心を持っておられるかを知る機会になりました。こんな情報もある、と逆に教えていただきました。

1/22 理学療法士

1月22日は佐世地区福祉懇談会（西阿用地区・西阿用集会所）に吉岡理学療法士が出かけました。「腰痛と膝痛の予防について」と題して、腰痛と膝痛についての基礎知識、痛みが発生する原因、痛みを放っておくと悪循環に陥ってしまうことなどを話しました。その後日常生活上のチェック

1/23 臨床検査技師

1月23日は佐世地区福祉懇談会（下佐世地区・潤谷公会所）に岩間臨床検査技師が出かけました。岩間臨床検査技師は当院の感染防止委員会事務局であり、冬場に流行する「ノロウイルス」や「インフルエンザ」などの感染症について話をしました。感染症の原因、感染経路などの説明を行った後、感染予防対策として「手洗いの励行」「マスクの着用」「ウチン接種」が有効であり実践してもらおうと呼び掛けました。全国的に話題となっている「ノロウイルス」については、ペットボ



▲岩間臨床検査技師による出前講座



▲吉岡理学療法士による出前講座

クポイントを確認し、参加された36人の皆さんは、それぞれに現在の自分の膝の状況をチェックしました。最後に症状（重度・中度・軽度）ごとの対処方法を説明し、予防するための運動と日常生活上で注意することを再確認しました。

トルを使ったノロウイルスに効く消毒液の作り方を説明しました。下佐世地区では48人の方が参加され、この時期に流行する感染症の話だけでなく、皆さん熱心に聞き入っておられました。

今後も地域の方々の健康に役立てられるように、要望に合わせて出前講座を行なっていきますので、お気軽にお申し込みください。

【問い合わせ・申込み先】雲南市立病院 総務課総務係
☎0854-43-2441 ホームページ：<http://unnan-hp.jp/>

「地域医療を守り・育てる 住民活動全国シンポジウム」

2月1日と2日に栃木県下野市の自治医科大学で開催された「地域医療を守り・育てる住民活動全国シンポジウム」に、当院より1人、「がんばれ雲南病院市民の会」より3人が参加しました。このシンポジウムは地域医療について、住民活動に携わっている方々、行政職員、病院関係者、地域医療に関心のある一般の方々が一堂に会し、課題や取り組みについて意見交換を行うものです。

今回のシンポジウムでは、初日に岩手県の「千厩病院を守り隊」朝顔のたねより事例発表が行なわれた後、グループワーク、交流会と続き全国各地の取組状況について、発表や意見交換を行いました。2日目には前日のグループワークの発表を行い、地域医療の課題と対策方法について情報共有しました。事例発表では、病院へ出掛けて医師にランチを作ったり、



▲シンポジウムに参加された皆さん

寸劇により診療時間内の受診や健康づくりの重要性を訴えるなど、住民の方々が地域医療を守るために懸命に取り組んでおられることに感心させられました。参加された皆さんが抱える課題は様々でしたが、病院や行政だけでなく地域住民の皆さんと一緒に地域医療を守っていくかなければいけないという意識は一致していました。

院内サロンふれ愛

3月・4月の開催日：
3月14日(金)・28日(金)
4月11日(金)・25日(金)
時間：午後1時30分から3時30分
場所：雲南市立病院 南棟2階 ドック検診室
お問い合わせ先：健康管理センター保健推進課 ☎0854-43-3602
お気軽にお越しください。

展示コーナーのご紹介

展示者：古典技法研究会



「梨の紅葉」 濱村 久子さん



「浄瑠璃寺」 藤原 陽子さん



「ラベンダー畑」 山本 美洋栄さん



「立久恵秋景」 濱村 久子さん



「水車小屋」 藤原 陽子さん



「早春の山」 山本 美洋栄さん

平成26年度 雲南市乳幼児健康診査日程表

大東町・加茂町にお住まいの方

【乳児健診】会場：大東健康福祉センター 4か月児健診(受付)13:00~13:30 10か月児健診(受付)13:30~14:00

健診日	4/3(木)	5/8(木)	6/5(木)	7/3(木)	8/7(木)	9/18(木)	10/2(木)	11/6(木)	12/4(木)	H27年 1/8(木)	2/5(木)	3/5(木)
4か月児	平成25年 11月生	平成25年 12月生	平成26年 1月生	平成26年 2月生	平成26年 3月生	平成26年 4月生	平成26年 5月生	平成26年 6月生	平成26年 7月生	平成26年 8月生	平成26年 9月生	平成26年 10月生
10か月児	平成25年 5月生	平成25年 6月生	平成25年 7月生	平成25年 8月生	平成25年 9月生	平成25年 10月生	平成25年 11月生	平成25年 12月生	平成26年 1月生	平成26年 2月生	平成26年 3月生	平成26年 4月生

【幼児健診】会場：加茂健康福祉センター 1歳6か月児健診(受付)13:00~13:30 3歳児健診(受付)13:00~13:30

健診日	4/17(木)	5/21(木)	6/19(木)	7/9(木)	8/21(木)	9/3(木)	10/23(木)	11/12(木)	12/11(木)	H27年 1/21(木)	2/19(木)	3/4(木)
1歳 6か月児	平成24年 9・10月生	—	平成24年 11・12月生	—	平成25年 1・2月生	—	平成25年 3・4月生	—	平成25年 5・6月生	—	平成25年 7・8月生	—
3歳児	—	平成22年 9・10・11月生	—	平成22年12月・ 平成23年1月生	—	平成23年 2・3月生	—	平成23年 4・5月生	—	平成23年 6・7月生	—	平成23年 8・9月生

木次町・三刀屋町・吉田町・掛合町にお住まいの方

【乳児健診】会場：木次健康福祉センター 4か月児健診(受付)13:00~13:30 10か月児健診(受付)13:30~14:00

健診日	4/10(木)	5/15(木)	6/12(木)	7/17(木)	8/14(木)	9/25(木)	10/16(木)	11/27(木)	12/25(木)	H27年 1/15(木)	2/12(木)	3/19(木)
4か月児	平成25年 11月生	平成25年 12月生	平成26年 1月生	平成26年 2月生	平成26年 3月生	平成26年 4月生	平成26年 5月生	平成26年 6月生	平成26年 7月生	平成26年 8月生	平成26年 9月生	平成26年 10月生
10か月児	平成25年 5月生	平成25年 6月生	平成25年 7月生	平成25年 8月生	平成25年 9月生	平成25年 10月生	平成25年 11月生	平成25年 12月生	平成26年 1月生	平成26年 2月生	平成26年 3月生	平成26年 4月生

【幼児健診】会場：木次健康福祉センター 1歳6か月児健診(受付)13:00~13:30 3歳児健診(受付)13:00~13:30

健診日	4/23(木)	5/29(木)	6/25(木)	7/31(木)	8/27(木)	9/11(木)	10/29(木)	11/20(木)	12/17(木)	H27年 1/29(木)	2/25(木)	3/12(木)
1歳 6か月児	—	平成24年 9・10・11月生	—	平成24年12月・ 平成25年1月生	—	平成25年 2・3月生	—	平成25年 4・5月生	—	平成25年 6・7月生	—	平成25年 8・9月生
3歳児	平成22年 9・10月生	—	平成22年 11・12月生	—	平成23年 1・2月生	—	平成23年 3・4月生	—	平成23年 5・6月生	—	平成23年 7・8月生	—

※都合の悪い方は、お近くの総合センター保健福祉課または健康推進課(☎0854-40-1045)へ問い合わせください。



島根県消費者センター
 Mascotキャラクター
 だまされないゾウくん

くらしの消費生活窓口

県内でも高齢者を狙った**特殊詐欺被害**が深刻化しています!

昨年県内で2億3千万円を超える被害が発生!

全国的に、未公開株・社債・ファンドなどの販売と称し、架空もしくは価値のないものを売りつけて多額のお金をだまし取る投資詐欺やオレオレ詐欺などの「特殊詐欺」(振り込み詐欺や振り込み類似詐欺)が多発しています。島根県警は、県内で昨年1年間、32件、2億3千万円を超える被害と発表しています。1件当たり約700万円の深刻な被害になっています。また、被害件数の3分の2は高齢者が被害者です。

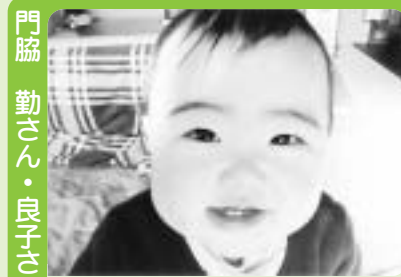
「現金をレターパックや宅配便で送れ」は詐欺! 手渡しの手口もある

以前は、ATMから口座振り込みさせる手口が主流でしたが、今は、多額の現金をレターパックやゆうパック、宅配便で送らせる手口が主流です。さらには、犯人が自宅まで受け取りに来る手口も県内でも発生しています。

「怪しいな」と思ったら家族や関係機関に相談を!

儲け話の電話や覚えのない投資案内が届いたら、身近な人に相談してください。「どうも怪しい話だな」と思ったら、ためらわずに、警察署または雲南市消費生活センター、島根県消費者センターにご相談ください。

雲南警察署 ☎0854-45-9110
雲南市消費生活センター ☎0854-40-1123
島根県消費者センター ☎0852-32-5916



門脇 勤さん・良子さんのお子さん
りな 李和ちゃん(三刀屋町三刀屋)
平成25年3月5日生まれ
1歳おめでとう。
毎日いろんな発見があるね。
いっぱい遊んで元気に大きくなってね。



小田川 守さん・亜紀子さんのお子さん
きはる 希春ちゃん(木次町東日登)
平成25年3月20日生まれ
1歳お誕生日おめでとう♪
きはるの笑顔でみんな幸せな気持ち
でいっぱいです。大好きだよ。



多々納寛之さん・眸弥さんのお子さん
さくたろう 咲太郎ちゃん(加茂町猪尾)
平成25年3月29日生まれ
お誕生日おめでとう♪
これからもいっぱい遊んで大きくな
れ♪



武田拓也さん・かよさんのお子さん
みなと 湊叶ちゃん(大東町仁和寺)
平成25年3月31日生まれ
1才のお誕生日おめでとう♪
みなちゃんの笑顔がいつもキラキラ
輝きますように。



板倉寛志さん・千恵美さんのお子さん
あき 有希ちゃん(加茂町加茂中)
平成25年3月23日生まれ
アキちゃん☆1歳おめでとう♪
大好きなお兄ちゃんといっぱい遊ん
で大きくなってね!(^_^)!

4月で満1歳(平成25年4月生まれ)のお子さんを募集!

写真に右の6項目の内容を添え、郵便またはE-Mailで
3月10日(月)までに情報政策課へお送りください。

【問】情報政策課 ☎0854-40-1015

郵送される場合のあて先
〒699-1392 雲南市木次町木次1013-1
雲南市役所情報政策課「わが家のホープ」係

E-Mailを送られる場合のあて先
jyouhouseisaku@city.unnan.shimane.jp
(タイトルは「わが家のホープ」としてください。)

※市ホームページにも市報うんなんを掲載します。
※お送りいただく個人情報は「わが家のホープ」以外の目的には使用しません。
※郵便物またはメールが届きましたら、情報政策課から「到着確認」の電話をかけます。投稿後、当課からの電話がないときは問い合わせください。

- ①お子さんの名前(ふりがな)
- ②お子さんの誕生日
- ③ご両親の名前(ふりがな)
- ④住所
- ⑤電話番号
- ⑥コメント(40字程度)

UNNAN多文化こどもフェスタ~小さな世界に会いに行こう!~開催

色々な国のことばや遊び、外国の絵本に触れながら、国際交流員や外国語指導助手、地元在住の外国の方との交流を楽しみませんか。

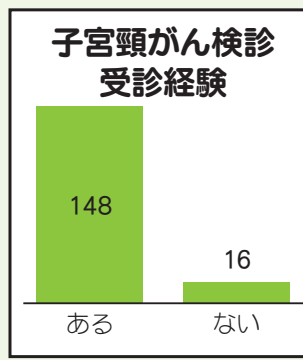
【日時】3月15日(土) 13:00~16:00 【場所】加茂健康福祉センター かもてらす
【内容】◎多国籍ブース/アメリカ、韓国、フィリピン、デンマーク、ニュージーランド、中国など
「外国の絵本読み聞かせ」「民族衣装の展示及び試着」「外国の遊び」
◎雲南パパによるキッズコーナー
「英語の手遊び歌」「ダンボールを使った遊び場」「バルーンアート」など
◎ワークショップ「クッキングクラス」「チマチョゴリ折り紙」「缶バッチ作り」
【参加費】無料 【申込】不要(クッキングクラスは、申込み要。3月12日(水)〆切)
【託児】あり(要予約)

地域振興課 ☎0854-40-1014



子宮頸がん検診について

子宮頸がん検診の受診者が増やすために、30歳・35歳（平成24年度無料クーポン対象）の方にアンケートを行いましたので、結果の一部を紹介いたします。（対象者…358人、回答者…164人、回答率45・8％）アンケートにご協力いただいた皆様、ありがとうございます！



子宮頸がん検診を受診している方は9割でした。

つげなことしとーます



このコーナーでは、健康づくりに役立つ情報や身体教育医学研究所うんなんの活動についてお知らせします！

地域運動指導員養成講座実施中！

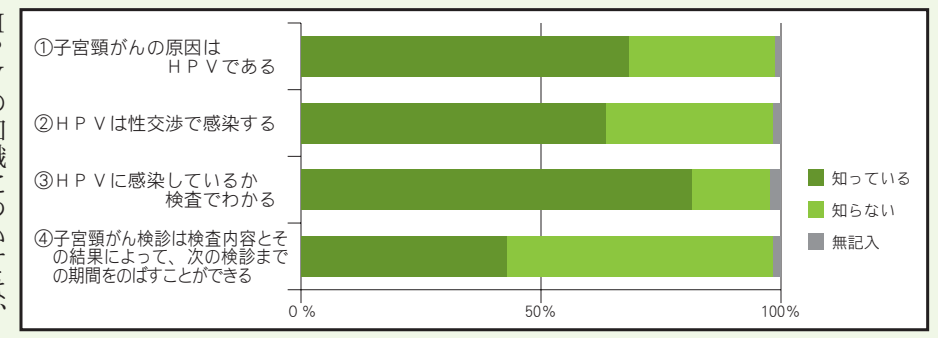
昨年12月から第4期地域運動指導員（以下「指導員」）の養成講座を開始しました。

この養成講座は、まずは指導員自身が普段の生活の中でできる健康づくりについて学びます。また、雲南市民の健康づくり・介護予防のために、地域ボランティアとしてからたを動かす楽しさを普及できるように学習します。各回では、島根大学の先生をはじめ市の保健関係者による講義と実技を行います。

受講生のみなさんの声！

今回の受講者は、市内全域からご参加いただき40人（女性35人・男性5人）となりました。受講者はそれぞれ思いを持って参加されています。

知識の質問（アンケートの一部抜粋）



HPVの知識については、知っているという回答の方が多かったですが、子宮頸がん検診の受診間隔については、「知らない」と回答した方が多い結果でした。HPVについては、下記をご覧ください。子宮頸がん検診を受診し、自らの健康意識を高めましょう。

HPV（ヒトパピローマウイルス）検査とは？

ほとんどの方が感染するありふれたウイルスです

HPVは性交渉で感染します。性交経験のある女性であれば、1度は感染するありふれたウイルスです。多くは自然に消えていきますが、中には感染が続き、その中の一部が「がん」になることがあります。

がんの早期発見が重要！！

細胞診の検査にこのHPV検査を併用することで、子宮頸部の前がん状態（がんに行きやすい状態）をより確実に発見することが可能になります。早期に発見すれば、治療して治ります。

雲南市では、子宮頸がん検診（細胞診）に併せてHPV検査ができます！！



講義の様子（平成25年12月12日）

○受講生の応募動機から
 ・からだを動かしてみたい
 ・自分と家族の健康のため
 ・地域でお手伝いがしたい
 ・地域の方と楽しく過ごしたい
 ・介護予防に役立てたい

○受講生の感想から
 ・健康の維持増進にからだを動かすことの重要性がわかった
 ・自分の住む地域の信頼関係を築くことが大切だとわかった
 ・いろいろな方と交流ができて嬉しい

6月にはすべての講座が修了します。各町で活躍する指導員に是非ご期待ください。
 身体教育医学研究所うんなん
 ☎0854-4510300

Hello Everyone うん、なんでしょ

国際交流員(CIR)の迷言コーナー

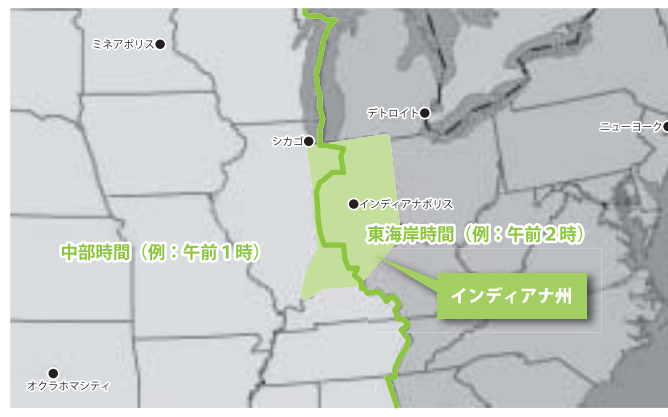


こんにちは、ダニエルです。

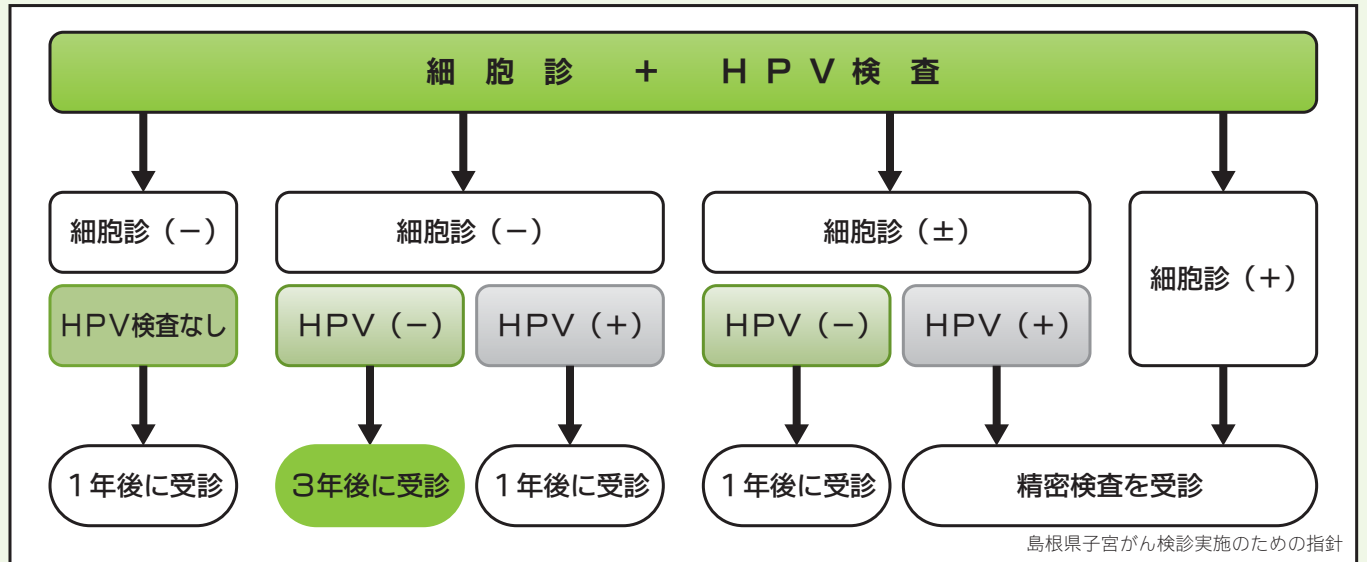
3月になると、アメリカなど多くの国では夏時間を導入します。夏時間は1年の内太陽の出ている時間帯を有効に使う制度で、決まった単位で標準時間を進めることです。1時間単位が最も多く使われます。これに関して、私の出身インディアナ州は特別です。州の中で時間帯が分かっているからです。ほとんどが東海岸時間ですが、州境に近い場所は中部時間にあります。

インディアナの北西部はシカゴに近くて時間帯が同じです。しかし、中央インディアナは東海岸時間帯にあり、シカゴより1時間早いです。結果として、インディアナの首都（インディアナポリス）からシカゴに飛びと出発した時間より早い時間に到着することが多くあります。それ自体は問題ないですが、時間帯の境目が解りにくく、意識しておかなければ1時間早く着いたり、逆にイリノイ州の人が1時間遅

遅れたりする恐れがあります。この分かれた時間帯の問題が昔から議論され、両側の主張に正当な理由があるため、近いうちには変わらなさそうです。時差や時間帯がなかなか分かりにくいですが、世界の事実であり、気を付けていけばつまづくことはないでしょう。海外旅行をするとき、よく時間帯を暗記して遅れないようにがんばりましょう！



●細胞診とHPV検査を併用した時の検査結果と、次回の検査時期をまとめたチャート



島根県子宮がん検診実施のための指針

- ・細胞診(±)は軽度の病変の疑いがあるという意味です。
- ・細胞診が陽性(+)の場合は、HPV検査結果に関わらず、精密検査を受けていただくようになります。
- ・細胞診も陰性(-)でHPV検査の結果も陰性(-)だった場合、次回は3年後の受診になります。



特別支援教育



出雲養護学校雲南分教室

これまで、雲南圏域（雲南市・飯南町・奥出雲町）には特別支援学校がなく、知的障がいの特別支援学校に通学するためには、長い時間をかけて出雲養護学校や松江養護学校に通うか、寄宿舎を利用するかのいずれかの方法しかありませんでした。しかし、この度、教育の機会均等を保障し、生徒及び保護者の方の負担軽減を図るため、雲南市に「出雲養護学校雲南分教室」が設置されることになりましたので、概要を紹介します。

◇設置場所

雲南市三刀屋町三刀屋地内（雲南市社会福祉協議会隣接地）

◇設置する学部と定員

知的障がいの高等部

各学年1学級（生徒数8人）
生徒数24人、教職員10人

でスタート

◇今後の予定

平成26年3月より工事開始、平成27年4月開校

雲南分教室ではどんな教育が行われるのでしょうか。

○卒業後の就労を見据えて、ものづくり、接客、サービス等を意識した作業学習に取り組みます。雲南市には紙すき、陶芸等の職人さんや農産物加工に携わる人も多く、こうした方々の協力を得て作業学習を行っていくことが可能だと考えられます。

○近隣の三刀屋高校との交流、及び共同学習を実施することによって、分教室の生徒の社会性の育成、三刀屋高校の生徒の障がい者理解の促進が期待されています。

子どもたち一人ひとりが自分の役割を果たしながら自分らしい生き方を実現していく姿を地域全体で温かく見守っていきたいものです。

雲南市教育委員会 学校教育課

☎0854-40-1072

学校支援地域本部事業取り組み報告③

学校支援地域本部は、地域のボランティアが協力・参加することにより、学校の様々な活動をより充実しよつとする事業です。今回は温泉小学校教育支援コーディネーター山本博子さんからの報告です。

【温泉小学校での取り組み】

地域講師の西村美時子さんを招いて、お茶室での礼儀、お茶やお菓子のいただき方、お茶の点て方などの学習をしています。子どもたちは礼儀作法を身につけながら「お茶がおいしい」「上手に点てられた」と楽しく学んでいます。掛軸、お花などの説明を聞き、日本の伝統文化も学びます。四季折々の花を生け、穏やかな時間を過ごしたお茶の学習も閉校に伴い終わります。最後の学習では子どもたちはさみしいようでした。西村さんに「お茶で学んだふるまいは、日常生活でも大切なことです。私もとても楽しい時を過ごさせていただきました。ありがとうございました。5年間にわたりご指導いただき、本当にありがとうございました。

地域の皆さんには、色々な学習活



お茶の礼儀作法などを学びました



動にご支援をいただき、感謝とお礼を申しあげます。4月には木次小学校と統合します。引き続きご協力いただきますようお願いいたします。



市役所からのお知らせ

表彰状
おめでとうございます

◎ここところ大賞

（子育て支援グループ部門）
子育て支援に積極的に取り組む優れた団体等を表彰するもので、地域による親子交流活動を自主的に開催した功績により
子育てサークル「ちいさいもんのクラブ」（代表 大家規代さん）（吉田町）

ありがとうございます
うげいしました

雲南市及び市関係施設に次のご寄附をいただきました。厚くお礼申し上げます。

◎雲南市

電気自動車及び充電装置
株式会社日産自動車

◎教育委員会

寄附金
山崎孝男さん（大阪府大阪市）
藤原克朗さん（加茂町）
石原英樹さん（加茂町）
株式会社ネスター
（愛知県大府市）



飯石幼稚園の
休園

◎教育総務課

☎0854-40-1071
雲南市立飯石幼稚園は、入園希望者が少なかったことから、平成26年度は休園することとなりましたのでお知らせします。

◎加茂中学校

寄附金
加茂ライオンズクラブ
（加茂町）

◎木次小学校、寺領小学校、西日登小学校

冷蔵庫 各1台
ホシザキ電機株式会社
（愛知県豊明市）

◎木次図書館、三刀屋図書館

図書カード
小村光寛さん（出雲市斐川町）
吉木 節さん（千葉県松戸市）
岩佐壮四郎さん（神奈川県藤沢市）
森山峯也さん（兵庫県伊丹市）
曾田芳則さん（兵庫県芦屋市）

◎ふるさと納税

また、平成26年1月1日付で、大東町の森山律子さんが継続して法務大臣から人権擁護委員に委嘱されました。任期は3年です。

人権擁護委員を
紹介します

人権センター

☎0854-42-1767
平成26年1月1日付で、木次町 加藤貴美子さんが新たに法務大臣から人権擁護委員に委嘱されました。任期は3年です。



加藤貴美子さん

国民健康保険高齢
受給者証の送付

市民環境生活課

☎0854-40-1031
平成26年4月から、あらたに70歳になる人で所得区分が現役並み所得者以外の人の医療機関での窓口負担が2割に変更になります。
ただし、昭和19年4月1日以前生まれの人は、引き続き1割に据え置かれることにな

3月の税金

・国民健康保険料（第9期）
・後期高齢者医療保険料（第9期）

納期限は3月
31日月

広告枠

私たちは、雲南市のまちづくりを応援しています。



折り紙教室

人権センター

☎0854-42-1767

【日時】3月6日(木)
午後1時30分～
午後3時30分

【場所】大東町幡屋交流センター

【内容】「チュウリップ」を折ります。

【参加費】幡屋地区以外からの参加者は500円(幡屋地区の参加者は、交流センターから助成があります)
事前の申し込みが必要です。申込み、問い合わせは、人権センターまで。



ひとまち条例の届出先

都市建築課

☎0854-40-1065

鳥根県ひとにやさしいまちづくり条例の届出先は全て鳥根県雲南県土整備事務所建築部でしたが、平成26年4月1日から届出先が一部変更されます。

【届出先】●建築基準法第6条第1項第

4号の建築物の場合
雲南市都市建築課建築指導グループ

●右記以外の建築物の場合
鳥根県雲南県土整備事務所建築部
※詳しい内容は、問い合わせください。

3月の古紙回収

市民環境生活課

☎0854-40-1033

ゴミを減らし、限りある資源を大切にしましょう。リサイクルにご協力ください。

【回収品目】古紙(ダンボール・雑誌類・新聞紙・広告チラシ)
回収品目以外の持ち出しは不法投棄となりますのでご注意ください。

- ・品目ごとに紐でくくる
- ・一絡みは10kg以内
- ・持ち出しは当日のみ

4月から古紙回収場所が、変更になりますので、詳しくは今月配布するごみの収集カレンダーをご確認ください。(吉田町、掛合町の古紙回収は今までどおりです。)



「まちづくりネットワーク会議」会員を募集します

男女共同参画センター

☎0854-42-1767

「男女共同参画まちづくりネットワーク会議」では、性別に関わらず全ての人が安心して生き生きと豊かに暮らせる社会となることをめざし、市民のみならずと協働で、啓発寸劇や研修会などさまざまな活動を行っています。一緒に活動していただける方を募集します。関心のある方は、男女共同参画センターへ問い合わせください。



しまね電子申請サービス更新のお知らせ

情報システム課

☎0854-43-8310

平成26年3月24日から、しまね電子申請サービスが新しくなります。

※3月21日～23日は、準備のためサービスを停止します。
■しまね電子申請サービスとは？

自宅や職場などの身近な場所からインターネットを通じて行政手続きが出来るサービスのことで、

●自宅などから受付時間を気にせず、いつでも手続きができて便利です。

●証明書の申請などは、手続きを前もって行うことで、窓口での待ち時間が短縮できます。

詳しくは「しまね電子申請サービス」のページをご覧ください。



しまね企業ガイド(松江会場)

産業推進課

☎0854-40-1052

企業の採用担当者による会社概要や採用予定に関する情

町	持ち出し日	持ち出し場所
大東町	3月16日 第3日曜	大東町体育文化センター、春殖交流センター、駅前公民館、幡屋リサイクルボックス、佐世交流センター、西阿用集会所下倉庫前、阿用交流センター、下久野リサイクルボックス、久野交流センター、海潮交流センター、須賀リサイクルボックス、塩田交流センター
加茂町	3月2日 第1日曜	自治会単位
木次町	3月16日 第3日曜	斐伊体育館東側ゲートボール場隣駐車場、西日登交流センター、温泉交流センター、日登交流センター、雲南市役所職員駐車場
三刀屋町	3月9日 第2日曜	三刀屋総合センター裏、一宮交流センター、飯石交流センター、鍋山交流センター、中野交流センター、根波生活改善センター



軽自動車・原付等の異動手続きはお早目に

税務課

☎0854-40-1034

軽自動車税は、毎年4月1日現在で軽自動車・原付等を所有している人に課税されます。

軽自動車、二輪車等を処分したり、譲渡したりしたとき、

報を提供します。

【日時・場所】3月1日(土)

くにびきメッセ

・リアルアドバンス2015

午前10時～正午

・個別企業説明会

午後1時～午後4時

【対象者】

平成27年(2015)3月

大学、短期大学、高等専門学校、専修学校等の卒業予定者

及び県内就職を希望する方

【参加企業】

2月初旬頃から「ジョブカフェしまね」のサイトに順次掲載します。

【問い合わせ】

ジョブカフェしまね(公益財団法人ふるさと鳥根定住財

団)

☎0120-67-4510



しまね東部若者サポートステーション雲南出張相談会

産業推進課

☎0854-40-1052

しまね東部若者サポートステーションでは、働くことに悩みを抱える若者の自立に向けて、心理カウンセリングやキャリアアカウンティングなどを実施します。ご本人はもちろん、保護者



松江工業高校から「特別編入生」の募集

県立松江工業高等学校定時制
☎0852-67-2118

その手続きをしないまま4月1日を経過した場合、前年度に引き続き平成26年度の軽自動車税が課税されますので、3月中の手続きをお奨めします。なお、所有者の都合でしばらく使っていないという場合は、廃車できません。軽自動車税の納期は5月末です。税額は5月中旬にお知らせします。手続きの際は、左記問い合わせ先に直接問い合わせください。

【出願期間】

3月3日(月)～24日(月)

午後3時

【試験日】

3月26日(水)

※詳しくは、松江工業高校定時制にお問い合わせください。

☎0852-67-2118

☎0852-67-2128

☎0852-67-2128

【申込・問い合わせ】

鳥根県立心と体の相談センター(自死遺族相談ダイヤル)

☎0852-21-2045

【日時・場所】

3月26日(水)

【一部】午前9時～正午

【二部】午後1時～午後3時

雲南市勤労青少年ホーム(毎月の第4水曜日開催)

【対象者】

15歳～概ね40歳まで

【問い合わせ】

しまね東部若者サポートステーション(サポステ松江)

☎0852-33-7710



自死遺族のための相談会

健康推進課

☎0854-40-1045

法律の専門家(司法書士)とスタッフが相談に応じます。(予約優先)ご遺族同士の交流を希望される場合は、交流会の時間をもつことも可能ですので、申し込みください。

【日時】

3月15日(土)

午後2時～午後4時

【場所】

いきいきプラザ島根

2階相談室

【問い合わせ】

地域振興課(☎0854-40-1014) または、吉田総合センター自治振興課(☎



吉田地域バスは、4月1日から「予約型バス」に変わります

地域振興課

☎0854-40-1014

【申込・問い合わせ】
鳥根県立心と体の相談センター(自死遺族相談ダイヤル) ☎0852-21-2045
これまで吉田地域バスは、小中学生の通学確保を目的に、一般利用者が同乗する「スクールバス混乗型」として運行していましたが、学校行事等の関係で運行時間が変わったり、昼間の時間帯にバスが運行しないなど、一般利用者の方には利用しづらい運行形態でした。
そこで、平成26年4月からスクールバスを小中学校専用の運行とし、一般利用者の方は事前に予約をしていただく「予約型バス」をご利用いただくこととなります。
詳しくは、3月の自治会配布物でお届けする「2014年度版雲南市民バス時刻表」をご覧ください。

うんなん家庭の日

毎月第3日曜日
は「うんなん家庭の日」です

3/16

社会教育課 ☎0854-40-1073

新築住宅、購入住宅の固定資産税が減額されます

定住の促進及び地域経済の活性化を目的として、平成26年4月1日から平成29年1月1日までに新築または購入された住宅の固定資産税について3年間課税を免除します。

さらに、Uターン者及び市内事業者等が施工された住宅の場合は免除期間を2年間延長し、最大5年間課税を免除します。

- Uターン者：過去3年以内に雲南市に転入された者
- 市内事業者等：雲南市内に本店や営業所を有する法人（法人設立[開設]を雲南市へ届け出ている業者）、または市内に住所を有する個人事業者

課税免除の適用を受けるためには以下の①～⑤を全て満たす必要があります。

- ①地方税法の“新築住宅に対する固定資産税の減額”対象住宅に該当すること。（※）
- ②平成26年4月1日～平成29年1月1日までの間に新築された住宅または、購入された分譲建売住宅であること。
- ③所有者が本市の住民基本台帳に登録されていること。または、特別な事情により住民基本台帳に登録することができない場合は、別途届出書が提出されていること。
- ④住宅の所有者に市税等（国民健康保険料を含む）の滞納がないこと。
- ⑤賃貸住宅または賃貸マンションでないこと。

※床面積が50㎡～280㎡の新築住宅（店舗などを併用している住宅の場合は、住宅部分が全体の1/2以上であれば対象住宅となります。ただし、居住に用いる部分のみが減額の対象となり、店舗や事務所など住居以外の部分は減額対象となりません。）

＜制度適用の例＞

床面積150㎡、税額150,000円の住宅が制度の適用となった場合

		納めていただく 固定資産税
通常の税額	150㎡ (税額 150,000円)	150,000円
国の制度による減額	30㎡ (税額 30,000円)	【国の制度による減額】120㎡分の税額の1/2(税額 60,000円)
		120㎡分の税額の1/2(税額 60,000円)
国の制度による減額+雲南市独自の免除	30㎡ (税額 30,000円)	【国の制度による減額】120㎡分の税額の1/2(税額 60,000円)
		【雲南市独自の免除】120㎡分の税額の1/2(税額 60,000円)

国の法律で定められた制度と雲南市独自の制度により、実質120㎡までにかかる固定資産税は、新築後の3年度分は全て減額されます。

なお、Uターン者及び市内事業者等が施工された場合の4年目、5年目に適用される、国の法律で定められた制度による減額期間終了後の課税免除額は、対象住宅の床面積120㎡以下の部分に係る税額に1/2を乗じた額になります。

課税免除の適用を受けるには、要件を満たすことわかる書類（契約書の写し等）を添付の上、申請手続き等が必要です。詳しくは、税務課（TEL0854-40-1034）まで問い合わせください。

税務課 ☎ 0854-40-1034



【日時】
3月5日（水）
午前9時30分～正午

【場所】
ホテル白鳥

【対象者】
保育士の資格をお持ちの方で、保育士として就職に興味のある方

【参加費】 無料

ほいくるCafeとは、保育士資格をお持ちの方を応援する「ほいくる」を「えーる」する場所です。
パネル・ミュージックグループで活躍中の現役保育士と一緒に手遊び、うた遊びやお茶を飲みながら語り、保育士になりたいと思った頃をちよっと思いで思い出してみませんか。

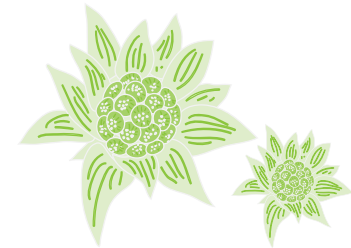
0854-74-0211
ほいくるCafe

【取扱時間】
平日のみ
午前9時～正午、午後1時～午後4時30分

【取り扱う証明書】
・全国の土地と建物の登記事項証明書
・全国の会社・法人の登記事項証明書及び印鑑証明書（印鑑証明書の請求には、「印鑑カード」と「代表者の生年月日」の入力が必要です）

松江地方法務局出雲支局
☎ 0853-22-9804
松江地方法務局は、島根県雲南合同庁舎に登記事項証明書等交付窓口の雲南法務局サービスセンターを開設していますので、ご利用ください。自宅や会社からオンラインで請求した登記事項証明書等を同サービスセンターで受け取ることが出来るサービスも試行的に開始していますので、詳しくは、松江地方法務局ホームページをご覧ください。

雲南法務局サービスセンターの
利用のお願い



お詫びと訂正
2月号の掲載内容に誤りがありました。お詫びして訂正します。

●ふるさとウォッチング 8ページ 女性バレーボール3チームが全国大会出場！さくらぐみチームの結果
（誤）奈良県、栃木県チームと対戦しましたが、いずれも惜敗しました。

（正）初日は、奈良県、栃木県チームと対戦しましたが、いずれも惜敗しました。
2日目は、茨城県チームに勝利し、神奈川県チームには惜敗しました。

日本一短い

感謝の手紙

39
今回は雲南市内の小学生から、地域の方々への手紙を紹介します。

放課後のスタッフさんへ
いつものびのびでお世話になっています。いつもにあそんでもらってうれいす。ありがとうございます。

放課後のスタッフさんへ
かえるまでばんきょうをみてくださってありがとうございます。いつもたのしくすごせます。

放課後のスタッフさんへ
いつものびのびで、見まもってくださいありがとうございます。うれしかったです。

見守り隊のみなさんへ
いつも私たちを見守っていただきありがとうございます。これからもいろいろとよろしくお願いします。

見まもりさんへ
がっこうのかえりに、いつもついてきてくださりありがとうございます。ほくは、あんしんしてかえれます。

3月議会

【問】議会事務局 ☎40-1004

◆雲南市議会 3月定例会		
本会議（開会・所信表明・議案上程・説明・質疑）	3日(月)～4日(火)	9:30～
本会議（代表質問）	5日(水)	9:30～
本会議（一般質問）	5日(水)～10日(月)	9:30～
予算審査特別委員会	10日(月)	本会議終了後
産業建設常任委員会	11日(火)～12日(水)	9:30～
教育民生常任委員会	13日(木)～14日(金)	9:30～
総務常任委員会	17日(月)～18日(火)	9:30～
予算審査特別委員会	20日(木)	13:30～
本会議（委員長報告・討論・採決・閉会）	25日(火)	13:30～

※日程は変更する場合があります。



3月の健診・教室 など

【問】健康推進課 ☎40-1045

◆育児相談		
三刀屋子育て支援センター	3日(月)	9:30～
地域福祉センターおおぎ	6日(木)	
掛合子育て支援センター	13日(木)	
木次子育て支援センター	14日(金)	
加茂子育て支援センター	17日(月)	
◆妊婦サロン		
木次子育て支援センター	14日(金)	10:00～
◆離乳食教室		
木次健康福祉センター	25日(火)	9:30～

◆乳幼児健診				
乳児健診	大東・加茂地区の方	加茂健康福祉センター	13日(木)	13:00～(4か月児) 13:30～(10か月児)
	木次・三刀屋・吉田・掛合地区の方	木次健康福祉センター	18日(火)	13:00～(4か月児) 13:30～(10か月児)
幼児健診	大東・加茂地区の方	大東健康福祉センター	5日(水)	13:00～(1歳6か月児) 13:30～(3歳児)
	木次・三刀屋・吉田・掛合地区の方	木次健康福祉センター	27日(木)	13:00～(1歳6か月児) 13:30～(3歳児)

◆断酒会		
加茂健康福祉センター	3日(月)	18:30～20:30
田井交流センター	6日(木)	19:00～21:00
大東交流センター	11日(火)	
下熊谷交流センター	17日(月)	
掛合まめなかセンター	19日(水)	
三刀屋健康福祉センター	29日(土)	

◆健康体操教室				
健康体操		加茂健康福祉センター	7日(金)	9:30～10:00
			14日(金)	
			21日(金)	
28日(金)				
3B体操			3日(月)	13:30～15:00
			17日(月)	

献血 【問】市民環境生活課 ☎40-1031

皆様のご協力をよろしくお願いします。			
吉田町	吉田総合センター	18日(火)	9:30～11:00
	島根イーグル(株)		13:00～14:30
掛合町	掛合総合センター	18日(火)	15:15～16:15
	島根ナカバヤシ(株) 掛合工場		17:00～18:00
大東町	大東総合センター		9:00～10:30
	グリーンシティ		11:15～12:30
	雲南市立病院	24日(月)	14:00～16:30
	SWS西日本(株) 島根工場		17:15～18:15

【問】長寿障がい福祉課 ☎40-1042

◆雲南市障がい者支援活動			
茶話会	三刀屋農村環境改善メインセンター	20日(木)	13:30～15:30
【問】地域活動支援センター パレット ☎45-0020			

※内容、場所、日時の順に記載。市外局番は記載のないものはいずれも0854。

3月

子育て支援センターなどのスケジュール

大東		
教室・相談	子育て教室(あおぞら保育園重棟)	6日(木) 9:30～11:30
大東子育て支援センター(あおぞら保育園2階)	赤ちゃん教室(あおぞら保育園重棟)	11日(火) 9:30～11:30
	劇団「風の子」公演(あおぞら保育園)	12日(水) 10:00～
	子育て相談	14日(金)、28日(金) 10:00～16:00
福祉センターおおぎ	市育児相談	6日(木) 9:30～11:00
子育てサロン		
木馬(おおぎ)		毎週火・木曜日 9:30～15:30
ほかほかひろば(幡屋交流センター)		3日(月) 9:30～11:30
よちよち(旧久野幼稚園)		5日(水) 9:30～11:30
ぼっぼ(佐世交流センター)		13日(木) 9:30～11:30
うじお(海潮交流センター)		14日(金) 9:30～11:30
地域サークル		
おおざっこサークル(大東健康福祉センター)		4日(火) 9:30～11:30
幡屋交流センター		17日(月) 9:30～11:30
佐世交流センター		20日(木) 9:30～11:30
大東健康福祉センター		28日(金) 9:30～11:30
保育園開放日		
大東保育園	毎週水曜日	試食の予約: 前日16:00まで
かもめ保育園	毎週金曜日	試食の予約: 前日16:00まで
あおぞら保育園	毎日	試食の予約: 当日9:00まで
問い合わせ	▶大東保育園 ☎43-6132 ▶かもめ保育園 ☎43-5028 ▶あおぞら保育園(大東子育て支援センター) ☎43-9500 ▶地域福祉センターおおぎ ☎43-5610	

加茂		
支援センター	子育てなんでも相談	5日(水) 9:00～12:00
加茂子育て支援センター(かもてらす日興茶室跡地)	ハンドメイド教室	13日(木) 10:00～
	育児相談	17日(月) 9:30～
子育てサロン		
つくしつ子広場(支援センター)		3日(月)(ひなまつり会&誕生会) 12日(水)、19日(水) 10:00～
ぶちつくしつ子広場(加茂交流センター)		14日(金) 10:00～
問い合わせ	▶加茂子育て支援センター ☎49-6723 ▶加茂交流センター ☎49-8380 ▶かもてらす(社協加茂支所) ☎49-7306	

木次		
支援センター	ひな人形作り	3日(月)、4日(火) 10:00～
木次子育て支援センター	ミュージックア(1歳半以上)	5日(水) 10:00～
	ひなまつり誕生会	6日(木) 10:00～(誕生児は要予約)
	リフレッシュ講座	7日(金) 個別時間(要予約)
出前保育		
西日登交流センター		12日(水) 10:00～
温泉交流センター		8日(土) 9:30～13:00
教室・相談		
木次子育て支援センター	ベビーマッサージとママの軽運動	11日(火) 10:00～(要予約)
	育児相談	14日(金) 9:30～11:00受付
	妊婦サロン	14日(金) 10:00～(要予約)
	ベビーマッサージ(3～8か月未満)	18日(火) 10:00～(要予約)
社協子育てサロン(にこにこクラブ) (参加費 一家族100円)		
日登交流センター		19日(水) 10:00～
高齢者コミュニティセンター		26日(水) 10:00～
問い合わせ	▶木次子育て支援センター(妻伊保育所併設) ☎42-2030 ▶雲南市社会福祉協議会木次支所 ☎42-9080	

三刀屋		
支援センター	育児相談	3日(月) 9:30～11:30
三刀屋子育て支援センター	ベビーマッサージ(8か月まで)	7日(金) 10:00～(要予約)
問い合わせ	▶三刀屋子育て支援センター ☎45-9500	

吉田		
保育所開放日		
吉田保育所		6日(木) 9:30～11:30
田井保育所		5日(水) 9:30～11:30
社協子育てサロン(あいあいクラブ)		
吉田健康福祉センター	お楽しみ会(お寿づくり)	19日(水) 9:30～11:30
問い合わせ	▶吉田保育所 ☎74-0330 ▶田井保育所 ☎75-0201 ▶雲南市社会福祉協議会吉田支所 ☎74-0078	

掛合		
保育園開放日		
夢の子園	お楽しみ交流会	4日(火) 10:00～10:50
	保育所開放日	12日(水) 9:00～11:00
支援センター(分室:掛合体育館)		
好老センター	ひなまつり誕生会(ロープワークの体験) 子育て相談日(ベビーマッサージ)	5日(水) 9:30～11:00(要予約) 13日(木) 9:30～11:00(10:00～要予約)
分室	お別れクッキング	18日(火) 9:30～11:00
	お話しの日	20日(木) 10:30～11:00
問い合わせ	▶かけや夢の子園 ☎62-9900 ▶好老センター ☎62-1121	

図書館だより

大東図書館 ☎0854-43-6131

3月の休館日 毎週金曜日、月末整理休館:31日(月)
特別整理休館:1日(土)～22日(土)(蔵書点検・配架修正等の作業のため)

イベント案内
☆こぐまちゃんくらぶ 24日(月) 10:30～
(わらべうた遊びの会 対象:乳幼児と家族の方)

新着の本(抄) ▼朝井まかて「恋歌」▼伊集院 静「ノボさん 小説正岡子規と夏目漱石」▼角田光代「私の中の彼女」▼笹本綾平「春を背負って」▼重松 清「赤ヘル1975」▼高樹のぶ子「香夜」▼中村文則「去年の冬、きみと別れ」▼中山七里「追憶の夜想曲」▼西 加奈子「円卓」▼葉室 麟「風の軍師」▼姫野カオルコ「昭和の犬」▼宮部みゆき「ペテロの葬列」▼村山由佳「天使の檻」▼ダン・ブラウン「インフェルノ④」▼五木寛之「新老人の思想」▼永 六輔「男のおばあさん②」▼豊田正義「妻と飛んだ特攻兵」▼マララ・ユスフザイ「わたしはマララ」▼樋口恵子「人生100年時代への船出」▼横 孝子「長生きしたけりゃふくらばはぎをもみなさい」▼遠藤 功「新幹線お掃除の天使たち」▼松下明弘「ロジカルな田んぼ」▼田村セツ子「おちゃめな老後」▼宮崎 駿「風の帰る場所 続」▼小林 凜「ランドセル俳人の五・七・五」▼松村真由子「野菜で探す『健康食合わせ』手帖」

木次図書館 ☎0854-42-1021

3月の休館日 毎週月曜日、21日(金・祝)、月末整理休館:4月1日(火)

イベント案内
☆よみかたりのじかん 毎週木曜日 14:30～

新着の本(抄) ▼若杉 潤「原発ホワイアウト」▼和田 竜「村上海賊の娘」▼花房観音「恋地獄」▼中山七里「追憶の夜想曲」▼高樹のぶ子「香夜」▼五十嵐貴久「キャリア警部 道定 聡の苦悩」▼森 絵都「漁師の愛人」▼薬丸 岳「その鏡は嘘をつく」▼梶 よう子「宝の山」▼ジョン・アーヴィング「ひとりの体で」▼井上ひさし「井上ひさし『せりふ』集」▼藤原正彦「グロバル化の憂鬱」▼ハウス加賀谷、松本キック「統合失調症がやってきた」▼渡辺和子「面倒だから、しよう」▼池上 彰「世界を変えた10人の女性」▼NHKスペシャル取材班「老人漂流社会」▼斎藤 学、村山由佳「『母』がいちばん危ない」▼松本 崇「負けてたまるか 車イス市長、どん底からの奮戦記」▼須田邦裕「本当はもっとこわい相続税」▼岡谷公二「神社の起源と古代朝鮮」▼生活たのしみ隊 編「赤ちゃん・子どもの祝いごと歳時記」▼コモ編集部 編「どうしたらうまくいく?きょうだい子育て」▼西邑清志「神社で神さまご縁をつなく本」▼樋口 進「ネット依存症」▼安保 徹ほか 監修「免疫力を10倍高める食べ方」▼加瀬清志「すぐに役立つ366日記念日事典」▼佐倉美穂「フィギアスケートはじめました。」

加茂図書館 ☎0854-49-8739

3月の休館日 毎週木曜日、21日(金・祝)、月末整理休館:31日(月)
臨時休館:28日(金)(加茂子育て支援センター建て替え工事に伴う加茂児童クラブ移転作業のため)

イベント案内
☆おはなしチューリップたのしい絵本の会 15日(土) 14:00～

新着の本(抄) ▼安部龍太郎「五峰の鷹」▼乙川優三郎「脊梁山脈」▼柏井 壽「鴨川食堂」▼菅田哲也「Qrosの女」▼宮部みゆき「ペテロの葬列」▼森 絵都「漁師の愛人」▼上田秀人「日輪にあらざり」▼佐伯 泰英「空蟬ノ念;居眠り磐音江戸双紙④」▼飯島弘文「パソコン入門5冊分!」▼渡辺和子「面倒だから、しよう」▼末井 昭「自殺」▼小川陽子「親の認知症が心配になったら読む本」▼高山なおみ「気ぬげごはん」▼久野恵一監修「民藝の教科書④ かごとざる」

大東図書館・加茂図書館 合同企画
絵本の料理をつくってみよう!「親子で楽しく絵本クッキング」
3月9日(日) 10:00～ 大東健康福祉センター調理室
事前申込みが必要。
※詳しくは、大東図書館または加茂図書館へ問い合わせください。

平成25年度島根県民文化祭共催事業 「稲田姫物語2014」

～出雲大王の鎮魂歌～

3月2日(日) 13:30 開場 14:00 開演

加茂文化ホールラメール (大ホール)

料金 【1 階席(指定席)】
一般1,000円、高校生以下500円
【2 階席(自由席)】 500円(当日800円)

【問】 ラメール ☎0854-49-8500

雲南市創作市民演劇 歌劇『ふることぶみ』

3月15日(土) 18:30 開場 19:00 開演

3月16日(日) 13:30 開場 14:00 開演

木次経済文化会館 チェリヴァホール

料金 一般1,500円、3歳～高校生 500円
(当日各500円増)

【問】 雲南市演劇によるまちづくりプロジェクト実行委員会
(チェリヴァホール内) ☎0854-42-1155

第9回雲南神楽フェスティバル 兼 出雲の國・斐伊川サミット「第6回出雲の國伝統芸能交流大会」

3月9日(日) 9:30 開場 10:00 開演 加茂文化ホールラメール

入場料 前売券：一般800円(当日券：一般1,000円)、高校生以下無料

出演 上多根神楽保存会、奥出雲神代神楽社中、南加茂貴船神楽社中、飯南神楽同好会、
西日登神楽社中、小河内神楽社中、乙立神楽保存会、槻屋神楽保持者会

【問】 商工観光課 ☎0854-40-1054

たたらの里山再生雇用創造推進協議会 セミナー日程

詳しくは、たたらの里山再生雇用創造推進協議会ホームページもしくは、雲南市役所産業振興部及びハローワーク雲南にチラシがありますので、ご覧ください。

今回は、食関連講座を一堂に会して開催します。

うんなん食の起業家養成講座最終報告会

地域の食材をいかし、新たな賑わい拠点、雇用機会の創出を担う人材を育成することを目的に、実践者を講師に招き、食の起業に向けた事業計画の立案方法を学び、カフェ、レストランなどの開店に必要な知識、ノウハウを習得してきました。

今回は、受講者が考えた起業プランを発表します。

■講師：アンテナカフェ・ハレの日 代表 ^{わたゆうこ} 和田裕子さん ■日時：3月1日(土) 13:00～14:50 ■場所：食の杜「室山忠庵」

売れる商品開発会議成果発表会

市内食品製造業者等を対象に、自社技術等を活かした新たな商品開発に向けた商品企画書(マイプラン)の作成を行ってきました。講座を通じて、自社の経営資源分析、マーケティング、ターゲットと販売戦略等、商品開発に必要なノウハウを学んできました。

今回は、事業者が考えた商品企画書の発表を行います。

■日時：3月1日(土) 15:00～16:30 ■場所：食の杜「室山忠庵」

特産品開発成果品公開セミナー

実践メニューによって、地域食材を活用した新たな特産品・料理開発を実施してきました。域外からの来訪者が持ち帰ることができる「土産品」、「ご当地商品」等の具体的な手法(ノウハウ)を公開するために開催します。

■講師：たたらの里山再生雇用創造推進協議会 実践支援員 ■日時：3月1日(土) 16:30～17:30 ■場所：食の杜「室山忠庵」

【問い合わせ先】 たたらの里山再生雇用創造推進協議会 (略称：雲南市雇用創造協議会)

雲南市加茂町南加茂 1204-1 ☎0854-49-6610 FAX0854-49-6642

協議会ホームページ <http://tatara-job.jp/>

市役所 産業推進課 ☎0854-40-1052

●市報うんなん No. 112 2014年 3月発行

発行・編集／雲南市役所 政策企画部 情報政策課

〒699-1392 雲南市木次町木次1013-1 ☎0854-40-1015 FAX 0854-40-1019

✉unnan-city@city.unnan.shimane.jp

市報うんなんに対するご意見、ご感想をお寄せください。

👤 人口・41,506人 (-60)

♂ 男性・19,909人 (-24)

♀ 女性・21,597人 (-36)

🏠 世帯数・13,775世帯 (-10)

平成26年2月1日現在 (先月比)